



震災復興支援
活動情報

Vol.11

サポセン かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、7月14日～7月22日に受付けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行:仙台市市民活動サポートセンター 電話:022-212-3010

8月10日(水)



地域生活支援 オレンジねっと

「人と人がつながる 地域の支え合い活動」物資支援から仮設住宅地域のコミュニティづくりの相談まで

「困ったときはお互いさま」をモットーに住民同士の助け合い活動を広め、住みよい町をつくらせて行こうと泉区南光台南で活動しています。震災後は、さわやか福祉財団の全国の仲間や住民の協力を得て、陸前高田市や石巻市へ義援金を届けたり、がれき撤去用具・日用品・衣類・野菜などの物資支援を行いました。また、避難所で被災者やボランティアがみんなでお話できるような「ふれあいカフェ」を開いたり、絵手紙を届けるなどの活動もしています。

最近では仮設住宅地域のコミュニティづくりについてのご相談を受けることも多く、「地域支え合い活動」によって少しでも暮らしやすい地域になればとお手伝いをしています。同時に行政へ、その担うべき役割についての提言もしていきます。8月5日から7日には、山元町の仮設住宅の方々120名と日光に行き、皆さんにリフレッシュをしていただきました。

●内容／誰でも自分の居場所があり、安心して子育てができ、みんなが顔見知りや挨拶し合うような町、歳を取っても最後まで尊厳や生きがいを持って暮らせるようなふれあいの町をめざして、2006年に立ち上げた団体です。会員制(入会金1,000円、年会費1500円)で、現在はボランティア会員数約52名。会員同士お互いが出来ることを出来る時にして助け合っています。誰でも出入り自由の住民の集まりです。趣味の交流サロン、商店のアンテナショップ、地域情報誌の発行なども手掛けています。

●連絡先

代表者 荒川 陽子(家族相談士・ボランティアコーディネーター、さわやか福祉財団インストラクター)
TEL & FAX:022(251)6435
連絡可能な時間帯 10:00～17:00
E-mail:youko_aratyan@yahoo.co.jp
ウェブサイト:<http://chiiki-orangenet.org/>



長町まざらいん

仮設住宅での生活を、あらゆる面からお手伝いします

これまで、あすと長町仮設住宅集会所で「ふれあいサロン」を開催し、寄附された衣類や食器などの提供、コーヒーサロンを開いての交流、長町病院の医師による健康チェックの実施、囲碁コーナーの開設などを行っています。また、東北労働金庫長町支店の協力で、金融機関困りごと相談を行ったり、宮城県古民家再生協会とともに、希望者に表札を無料作成するなどの活動も行ってきました。

今後の予定としては、9月10日(土)11日(日)午後2～4時あすと長町仮設住宅集会所にて「ふれあいサロン」を開催、また囲碁コーナーに続いて民謡コーナーなど各種専門コーナーを設ける予定です。

●内容／

- ・毎月最終月曜日に長町まざらいん例会を開催
- ・ミニコミ紙「長町ゆとりーと」を発行
- ・まちづくりに関するいろいろな企画

●連絡先

代表者 佐藤 征子
TEL:022(249)5454
ウェブサイト:<http://www.mazarain.sakura.ne.jp/mazarain/>



ReRoots(リルーツ)

被災から収穫の喜びへ、ともに農地の再生と復興、地域おこし

青葉区川内地区で活動が始まったリルーツですが、現在は若林区荒井のボランティアハウスを拠点に被災地支援を行っています。なかでも農業の再生と復興をめざして活動しています。大きながれきを重機で取り除いた後には、小さなものが土中に残っていて耕運機の歯を傷める恐れがあり、手で取り除かなければなりません。また民家に比べると農家は一軒当たりの土地が広く、それだけ人数も必要になりますが、農地の再生は、まさにマイナスからプラスへ、被災から収穫の喜びへと目に見えて成果が得られる活動です。今後も地域とのつながりを強め、地域おこしを目指して中長期的に支援を続けていきます。

●内容/地震で被災し川内コミュニティセンターに避難した学生や地域住民が一緒になって作ったグループです。8月には閉鎖される仙台市津波災害ボランティアセンターは民家を支援対象とし、被害の大きかった農地はまだ手付かず状態。復旧は途上であり、復興はこれからです。賛同して下さる方、ぜひ一緒に活動しましょう。

●連絡先

代表者 広瀬 剛史
TEL&FAX:022(762)8211 携帯090(5402)9952
E-mail:reroots311@yahoo.co.jp
ウェブサイト:http://reroots.nomaki.jp/
ツイッター:@ReRoots311



(社)仙台災害復興支援協議会

「津波復興支援センター」仙台・東松島・石巻地域の復興支援活動の拠点としてリスタート

震災直後から支援活動を行い、また5月から7月まで、仙台市津波災害ボランティアセンター(災害VC)の蒲生・岡田サテライトとしての役割を担ってきました。津波被害が甚大なこの地区において、家屋の泥出し・片付け、生活道路の再生、流木等の撤去など、被災された方々の要請を受け、のべ10,335名のボランティアの拠点として、地域に根づいた活動を行ってきました。災害VCの閉鎖に伴い社団法人を設立、民間の復興支援センターとして三陸沿岸中部まで範囲を拡げ、引き続き復旧・復興支援活動を行います。これまで同様、支援を希望される方、ボランティアに参加される方は、ぜひ直接ご連絡ください。

●内容/田畑の漂着物・雑草撤去、家屋の床はがし、流木の解体など、より活動の幅を広げて支援します。また、ラジオ石巻の復興番組制作、スマイルプロジェクト(避難所から大浴場へ無料バス送迎)を展開、元ガロ(フォークグループ)の大野真澄氏らを招いたアンラグドライブ主催など、再建期に向けての支援企画の強化も始めています。

●連絡先

代表理事 阿部 哲也
仙台市宮城野区岡田字南在家110-6
TEL&FAX:022(259)0731
連絡可能な時間帯 8:00~18:00(担当 青木)



NPO法人 生活の発見会 仙台夜間集談会

神経症等のこころの悩みを手助けします

●内容/神経症等の心の悩みがある方が、神経症治療に大きな効果を上げている森田療法理論を学習しながら解決していく自助活動グループです。毎週第3土曜日に、仲間と一緒に学習し、悩みを解決していこうという集談会を実施。大災害のショックで、神経症がひどくなった等の心の悩みのある方の手助けをします。

●連絡先

代表者 島貫 与治
TEL:022(378)3392 (担当 竹中 潔)



仙台介護サービスネットワーク

高齢者の介護を様々なネットワークの力でサポート

●内容/仙台圏域の介護事業に関わる事業者とケアマネジャーがネットワークを構築し、介護に関する様々な事業を行っています。復興支援では、「こころのケアチーム」活動や入浴困難な高齢者への施設入浴サービスの情報発信、各避難所での訪問入浴サービス、福祉避難所としてのケア実施、介護用品寄贈などの活動を展開しています。

●連絡先

代表者 会長 石原 祥行
TEL:022(215)2391
連絡可能な時間帯 9:00~18:00(担当 事務局 古川)
E-mail:taihaku@earthsupport.co.jp
ウェブサイト:http://www.webkic.co.jp/scsn/index.html



NPO法人 生活習慣改善センター

「今、あなたを生かす力とは？」講演会開催

生活習慣改善センターでは、震災直後より避難所や在宅避難している方々、主に仙南地区、名取市、亶理町、山元町への物資・食糧の緊急支援を行ってきました。また仮設住宅への入居が進んでいる現在も、被災者の生活支援はもとより、心に寄り添う活動等を長期的、総合的に対応しています。このたび、臨床バストラル教育研究センター理事長ヴァルテマール・キッペス氏を講師に招き、震災で失わなかったこと、震災で得たことに心を向けながら、自分にとっての生きる力をみつけ、大切な「今」を積み重ねていくために、スピリチュアルケアに関する被災者向けの講演会を開催します。

●内容／「今、あなたを生かす力とは？」講演会

日時：9月10日(土)13:30～15:30／場所：仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター／定員：160名／参加費：1,000円(避難所・仮設住宅等で生活されている方は無料)／申込み締切：8月31日(氏名・住所・電話番号)を記入の上、FAXまたはメールでお申込みください。

●連絡先

代表者 富沢 伊勢雄
TEL:080(3149)8452 FAX:022(224)7877
連絡可能な時間帯 平日10:00～18:00
E-mail:bosco.iseo@ezweb.ne.jp
ウェブサイト:http://blog.canpan.info/ssks/



ヒューマン・ケア～心の絆～プロジェクト

被災者や子どもたちへ健康維持のためのストレスケア

東日本大震災で被災した方々や子どもたちを対象に、予防医療を目的としたストレスケアのための「健康セミナー」に加えて、子どもたちに向けて本の読み聞かせを行う「絵本でおはなし会」や「プレイング・イベント」として、おんがく会、おえかき会などを実施します。「健康セミナー」では、専門医と臨床心理士、心理療法士などの方々に、自分や家族、周辺の方々の健康維持・管理のための対処法や予防法をわかりやすくお話いただきます。肉体的疲労はもとより、精神的疲労が限界に達している被災地域住民の方々や子どもたちに向けて、少しでも心の安らぎを提供しようというものです。

●内容／仙台会場：仙台市市民活動サポートセンター

日時：8月28日(日) 13:30～15:00 参加費無料
内容：健康セミナー／絵本でおはなし会／プレイング・イベント(アトラクション等)

上記会場の他、9月4日までの期間内の土・日曜に、青森、岩手、宮城、福島の前被災地全57ヶ所を順次訪問予定。

※会場により内容が変更する場合があります。

●連絡先

ヒューマン・ケア～心の絆～プロジェクト事務局
TEL:022(713)8778



Kids hurt too Hawaii

子ども達に希望と勇気を取り戻してもらうためにリーダーのトレーニングを実施

●内容／ハワイで10年間支援プログラムを提供しているNPOです。東日本大震災で被害を受け、親や家族と死別・喪失・トラウマ体験をした子ども達とその家族を長期的にグリーフ心のケアを行なうピアサポートリーダーあるいはメンターの育成を目的としたKids hurt tooのプログラム「キッズハートプロジェクト」を提供しています。

●連絡先

代表者 シンシア・ホワイト(M.Ed)、伊藤 正裕(MSW)
E-mail:hiro.kidshurttoo@hawaiiantel.net
ウェブサイト:http://www.kidshurttoo.org



NPO法人 森林との共生を考える会

勉強会を通して地震対策を提案しています

●内容／森林の公益的機能や地域材を利用することの意義を伝えるため、植林と森林整備作業、木の住宅の理解、森林環境教育等の活動を行っています。また、「地震から住まいを守るための対策は」「木造住宅と地震」などのテーマでの勉強会を開催し、住宅や宅地の地震に対する対応を、森林を守ることと木材を使うことの両面から実践しています。

●連絡先

代表者 理事長 半澤 力
TEL&FAX:022(229)3901
(担当 早坂 みどり)
E-mail:silvan@io.ocn.ne.jp



仙台東警察署「ミヤギノかけはし隊」

仮設住宅の安全と安心を守る

仙台東署では、震災直後から警察職員が避難所を訪問し、皆様から様々なご意見やご要望を聞かせていただき、出来る限り関係機関などに働きかけ、問題解決を図ってきました。震災から約5ヶ月、「避難所から仮設住宅に入っても警察に訪問してもらいたい」とのご要望が多く寄せられました。そこで、これまで同様、皆様に安全で安心な生活をお届けするための「かけはし」になりたいと考え、このたび「ミヤギノかけはし隊」を結成しました。慣れない仮設住宅での生活で、お困りごと、不安に感じていること、警察へのご意見やご要望などがありましたら、遠慮なくお知らせください。

●内容／

安全で安心な地域コミュニティー作りのため、宮城野区内の仮設住宅の巡回活動を行うほか、定期的な情報発信や防犯ボランティアと連携しての防犯パトロールを実施いたします。

●連絡先

仙台東警察署「ミヤギノかけはし隊」
TEL:022(231)7171



東日本大震災復興支援プロジェクト「ツナガルJAPANプロジェクト」

「ツナガルJAPANプロジェクト」で一日でも長く被災地を継続支援

●内容／

復興支援ポータルサイト「ツナガルJAPANプロジェクト」を通じて、被災地から他都道府県へ向けて情報を発信することで、長期的な支援につなげて行きたいと考えています。IT、音楽、朗読、傾聴、ヨガ…それぞれの分野のスペシャリストが集結。支援物資を募り、被災地へ輸送・配布する際に、心と身体のケアを併せた形での活動を行っています。

●連絡先

代表者 江口 りえ
TEL:090(2364)0552 FAX:022(726)3031
E-mail:rie@tunagaru-japan.net
ウェブサイト:http://www.tunagaru-japan.net/



宮城県被災復興支援隊

災害実態に合わせて的確な対策支援を実行

●内容／

宮城県内の震災被害の実態調査として被災者へ直接聞き取りを行っています。また、関連機関からも聞き取りし、必要な支援内容を吸い上げ、対策を協議して必要なところに必要な支援を届ける活動をしています。

●連絡先

代表者 及川 隆
TEL:090(2996)3136
E-mail:oneness.h.s@softbank.ne.jp

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧くださいありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:http://www.sapo-sen.jp
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日：2011年8月10日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人：小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
取材：市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン：氏家朗

